



LGBTQの講演会を振り返って

講演会で人権意識が高まる



5月23日(水)の5校時にLGBTQの講演会を行いました。ねらいは、①自分らしく生きるために、自分らしさを大切にし、1人ひとりの違いを認め合う態度を育

てること②性についての多様性やLGBTQについて理解を深め、悩んだ時の相談方法を知ることができるの2点でした。講師は、LGBTQの子を持つ親の会代表AIMIさんと「虹色ちゅらあ〜ず」のユニットで活動するロビンソワさんの2名でした。AIMIさんは、自分の息子さんのXジェンダーをカミングアウトさせるために、自分らしく生きていけるような環境づくりを母親として頑張ってきた内容を話されました。また、ロビンソワさんは、ご自身の経験を踏まえて、ありのままの自分であること、1人1人違っていてもいいことを子どもたちに向かって伝えてくださいました。

人権教育の一環として取り組みました。多くの子ども達のふり返りからも講演会の前後では変容が見られ人権意識の高まりを感じました。事前アンケートに配慮が足りなかった表現がありました。今後は、子ども達への配慮をした教育を推進し全職員で人権意識を高め、子どもたちを育てていく所存です。3名の生徒(学年・名前なし)のふり返りをご紹介します。

LGBTQは聞いたことがあったけど、詳しくは知らなくて、初めてLGBTQにもいろんな種類があることを知りました。「LGBTQだから」とならず、一人一人の個性だからLGBTQに関係なく人としての関係を積み重ねてくのが大切だと知りました。私は、LGBTQとか関係なく一人一人の個性を大切にし、もし、その人がLGBTQだとしても「その人」という存在を大切にできるようにになりたいと思いました。



LGBTQの当事者は隠していても自分を苦しめることになるから言った方がいいということと、周りの人は理解するのは難しくても把握することができると思うからやってほしいというのを聞いて、今までは、LGBTQという言葉に少し抵抗を持っていたけどこれからは理解、把握できるようにしたいなと思いました。また、AIMIさんのお話を聞いて、自分の子どもを持つ親の代表者としてほかの人たちに広める活動をしていてすごいなと思いました。もっと、たくさんの方がLGBTQについて理解し、自分らしく生きていけるようになってほしいなと思いました。

AIMIさんの息子さんがLGBTQの人であることを、カミングアウトしやすいように、お母さんとして、できることをして、すごいなと思いました。LGBTQのことは最近テレビとかでもやっていたので、知っていましたが、自分の周りにLGBTQの人が現れたりしたら、最初はやっぱりとまどってしまいそうだなと思いました。そして、ロビンソワさんが自分をオープンにして受け入れられる人と関わることが、一番楽しく過ごせると思うということに共感しました。これから、自分の周りにLGBTQの人がいたら、それはLGBTQ関係なく、かわかることのできるような人になりたいなと思いました。

今月も授業参観しています

今週の3日間(6/19～21日)、授業参観を行います。1時間でもよいので、子ども達の様子を見ていただき、子ども達の頑張る姿を見て、ご家庭でたくさん褒めたり、お話しをしたりしていただきたいです。よろしくお願いします。